

大東市内店舗応援商品券事業に関するご指摘・ご意見(親和図法より)

(令和2年11月22～27日) ※直接お会いして、もしくは電話にてお受けしたものです。

●商品券交換所

～3密状況～

●コロナ禍において、並ばせた。●三密対策してますといいながら、全然対応出来ず、人が溢れた状態となり、結局密になった。●ソーシャルディスタンスは、まったく取れてない。●商品券を交換できたが、密にさらされた。●買い物で住道へ出ると駅界限は行列で、このコロナ禍ですすがに怖かったです。●見ただけで絶望。

～社会的弱者への影響～

●高齢者の方を並ばせた。何時間も。●赤ちゃんも含めた子どもが沢山並んでいた。●長時間並ばせて高齢者への配慮がない。●商品券を交換でき、密を避けるには、朝早くから並ぶ必要があった。そこへ、高齢者、小さなお子様がいた。●お年寄りが倒れて、救急車の出動もありました。●子供さんの参加です。赤ちゃん連れの家族を見ている、市の無対策を憤ります。●一番酷いのは、身障者の方、不自由な身体で5時間は酷すぎます。

～運営・運用の実態～

●最後尾が切られたあと、役員がいない間に並んでしまった人とのトラブル。警察出動の事態に。●最初から人数分をカウントすべき。●並んでいる道路上で、あっちこっちで危険な場面があった。●受付にて、身分証明書や、レシートチェックはできていなかった。●係員の案内、ほぼ無し、対応が雑でした。●5時間かかりました。残念に思うのは、市の対策の貧しさですね。●市の関係者にただすと、想定外ですとアホみたいなお返事でした。●受付開始時間が、拠点(5箇所)により、異なっていた。●商品券交換テーブル(受付)の数が、拠点(5箇所)により、異なっていた。●配布無茶苦茶。本当に困っている方々に配布できてたか? ●雑に回収したレシート用紙、二重取り等のチェックはどのようにするのか? ●いいもりぷらざ16:00頃、交換再開していた

大東市内店舗応援商品券事業に関するご指摘・ご意見(親和図法より)

(令和2年11月22～27日) ※直接お会いして、もしくは電話にてお受けしたものです。

●商品券交換所

～平等性の欠如～

- 基礎疾患がある人など、病人の方は並べない。
- レシート貼り付ける作業をしたのにももらえなかった。
- このために要らない買い物までしたのに交換出来なかった。
- お金を使わせてレシート台紙を家族分6枚用意したのに。詐欺だ。どうしてくれる。
- 日曜日・祝日が仕事で今日行こうと張り切ってシートに2枚貼って喜んでたのに、あたらないなんてガッカリだ。
- せっかく並んでもう無理ですとなって帰って、嫌がる主人まで駆り出したのに。
- 警備不足により、家族代表が並んでいて、合流している。先着順の定義は崩れている。
- サンメイツに9時から並んでいた方が、もう無理との声にゾロゾロ人が帰ってきているので、諦めて帰った。そうですが、その後、職員が預かりに始めた。
- 10時に行った方が、並ばずにすんなり職員に台紙を渡せた。お一人ではなく何人も台紙を預かって貰えたとなったそうです。
- こはまさんのところの列にお父さんだけ並んでて子供が2人が横入りした。
- ご主人並んでて奥さんが横入りしたから文句を言ったが、トイレに行っていたとか言ってこのあとは無視された。
- 多くの人で、途中帰られた方も、沢山おられました。
- 大変に悲しい本日でした。すごく早朝より並ばれた方は交換出来たようですが。
- 住道駅周辺では、酷い行列となり、警察が出動する事態で早々に解散させられた。
- 新田公園で、ここまでといわれ、後からの方はほとんどの方が諦めて帰ったのですが、文句を言って詰めよった人には後日郵送しますと台紙を受け取ったようで、不公平です。私らおとなしく帰ったのにごねたらよかったですか？追加発行して下さい。
- 4人家族で、家族全員で来たら1世帯当たり8セットの商品券と交換になる。子供や赤ちゃんを連れた家族が多く並んでいた。
- 朝早くから並ばないといけないうえ、先着でしか交換できない。
- レシートを貼り付ける作業ができない方がいる(身体的問題)平等性に欠ける。
- 龍間からきて、何時間も並んだ。結果、商品券を交換できなかった。
- トイレにもいけない。
- 免許更新の予約をしていたので、2時間30分並んだが、諦めて、その場を後にした。
- 広い新田中央公園が人で埋め尽くされた。
- 龍間住民であるが、生駒市に行かず、大東で6万円レシートに投資した。
- 複数回商品券を貰っている人がいるかどうかの確認は？
- 商品券、残ったものも配ってほしい。
- 商品券を使用したいが貰えなかった方に悪い
- 商品券を使うとコロナ感染者と思われる。

大東市内店舗応援商品券事業に関するご指摘・ご意見(親和図法より)

(令和2年11月22～27日) ※直接お会いして、もしくは電話にてお受けしたものです。

●事業プロセス

～想像性、計画性の欠如～

●庶民の心が分からないからです。●市民ファーストの考え方がない。●今回の事業は失敗です。●人が溢れ返る状態を予測できた筈。あまりに愚策ではないか想像力の著しい欠如を言われても仕方がないです。●市民を危険に晒した事は間違いない。平等性の欠如等です。●商品券を頂いたが、一律平等にしてほしかったと。弱者(高齢者・足の悪い方)・お仕事だった人が、頂けないかたちでした。申し訳ない。●私の家では、4万円も使ったのに、なんのために？すごく期待していたのに、すごく騙された感がありますが。詐欺にあった感がぬぐえません。●小売り店舗の救済と言いながら、結構、全国規模のチェーン店が入っていた。皆、そちらで買い物する方が多くなるのではないかと最初言っていたことと、目的が違うのではないかと。矛盾している。●5万セットの商品券、人口12万人の人口で5万セットの商品券で、しかも1人2セットならば、単純計算で約5人に一人しか交換して貰えない。●交換期日が30日とありながら、初日午前中ではなくなるなんてありえない。●コロナで患者増えたら誰が責任取る？●コロナ感染源との判定になれば、どの様な対応を取るのか？●1週間の期間内で一日の配布枚数を制限したり、本人確認も郵送なら出来たと思います。

●責任と権限

～指揮・命令系統の実態～

●係員に苦情を言ったら、市は関係ない、商工会です。と言われて市も責任がないのはおかしい。●委託先に一任されすぎていた。●対応については、私自身も大東市として、市長、各議員又市の職員の連携や市民を思いやる姿勢に疑問だらけでした。●市は商工会議所だけの責任にして、予算執行者の責任を果たしていない。

大東市内店舗応援商品券事業に関するご指摘・ご意見(親和図法より)

(令和2年11月22～27日) ※直接お会いして、もしくは電話にてお受けしたものです。

●他市との比較

～世情の動向を軽視～

- 四條畷市や東大阪市のようなやり方もあったのに、なぜコロナ禍の時に人を集めたのか

●対策(次の施策)

～今回の事態を教訓として～

- 一人、一律の支援を行うべき
- もっと大東市として、やり方があるはずです。今後の市の有り方に、真剣に市民の声も聞いてやってほしいです。
- 今回交換出来なかった方を対象に第2弾、第3弾を増冊してやるべき。
- レシートを準備して交換出来なかった方には追加交換してほしい。
- 1万円毎の申し込み統計によると約5.5万世帯の内、約1.7万世帯が単身者世帯だとありました。つまり30%以上の世帯が単身者世帯です。この方達が1万円の買い物をするのは大変な事ではないかと推察されます。その様な人達が、今回の施策に漏れない様に配慮願います。
- 一人当2セットではなく、一人当1セットとする。
- 世帯対応として、単身世帯では1セット
- 複数人世帯では1セット+0.5セット/人とする。
- 1万円の領収書で5千円、5千円の領収書で2千円プレミアム商品券とする等。
- 着払い郵便による領収書受付とし、行列を作らず、多くの人間の集合を作らない。
- 次回は、郵送が高いなら平等に、少ない金券でも郵送とかで、みんなにあたるようにしないと。もらえたけど、もらえなかった人に申し訳ない。